

## 丹波漆を活用した新商品の紹介について

### 1 丹波漆新商品について

(1)概要 令和元年度に丹波漆活用事業で取り組んだ丹波漆 PR のための新商品の試作品を東京のショップや京都府主催の伝統工芸関係展示会にて展示し、全国に丹波漆の魅力をPRします。

(2)出品新商品（すべて新試作品）

名称	規格	備考
カードケース（一閑すず）	67mm×103mm×厚み17mm	
カードケース（一閑黒）	67mm×103mm×厚み17mm	
カードケース（螺鈿）	67mm×103mm×厚み17mm	
糸だまアクセサリー ピアス2連	23mm×35mm	仕様は多少変わります
糸だまアクセサリー ネックレス	12mm×24mm チェーン200mm	仕様は多少変わります
糸だまアクセサリー かんざし	15mm×30mm 金具10cm	仕様は多少変わります
万年筆（一閑すず）	150mm×φ19mm	カートリッジ2個・コンバーター付き
万年筆（一閑黒）	150mm×φ19mm	カートリッジ2個・コンバーター付き
漆染めストール（緑色 媒染）	80cm×200cm 房6cm	
漆染めストール（黄色 アルミ媒染）	80cm×200cm 房6cm	
漆染めストール（黄緑色 鉄・アルミ媒染）	80cm×200cm 房6cm	
栗箸置	35mm×36mm×厚み12mm	素材：鋳物
栗八角箸 朱溜漆塗り	225mm	素材：栗
ピアス・イヤリング	20mm×35mm	素材：UVレジン、漆材チップ

## 2 コトモノミチ at TOKYOへの出品【終了】

(1)概要 令和元年度に取り組んだ、丹波漆 PR のための紹介展示と新商品試作品のポップアップショップを、東京都墨田区のコトモノミチ at TOKYOで開催し、今後の商品開発や販路開拓を進めました。

(2)場所 コトモノミチ at TOKYO（東京都墨田区業平 4-7-1）

(3)期間 令和2年1月28日（火）～2月16日（日）

(4)丹波漆ワークショップ

蒔絵／金継ぎ体験 14日、15日、16日

講師：やくの木と漆の館職員



※コトモノミチ at TOKYO 東京都墨田区にある、全国の工場や工芸の職人と共に考えてつくり、伝えていくモノづくりの発信拠点。全国のモノづくり事業者が地域を超えて繋がり、技術を交えて新たなモノづくりに挑戦できる「事業者向けサービス」と、地域や技術を学び職人と繋がり実際にモノづくりを体験できるワークショップを開催し「個人向けサービス」を提供する場が「コトモノミチ」です。

### 3 工芸見本市「DIALOGUE（ダイアログ）」への丹波漆出展

- (1)概要 昨年度に続いての出品です。今年度は東京のコトモノミチにも出品した新商品の試作品を11品、展示・販売します。また、漆の原木や漆掻きの様子がわかるパネルを展示し福知山が誇る伝統技術の紹介をします。
- (2)名称 『KYOTO CRAFTS EXHIBITION “DIALOGUE”』
- (3)場所 hotel kanra Kyoto
- (4)日時 令和2年2月27日(木)～29日(土)  
※27日(木)は内覧会として先行公開
- (5)テーマ「KOUGEI NOW 2020」
- (6)主催 KYOTO KOUGEI WEEK 実行委員会
- (7)共催 京都府・セメントプロデュースデザイン・ホテルカンラ京都  
※詳細は別添チラシを参照
- (8)昨年度出品商品【参考】  
酒器（2種類）、箸（2種類）、スプーン、箸置、カードケース（2種類）、ピアス、ネックレス、簪、蕎麦猪口、ストール

### 4 「福知山の伝統技術」展

名称：丹波生活衣館企画展「福知山の伝統技術」展 ー伝統文化に育まれる作品たちー  
期間：令和2年2月13日（水）～2月24日（月）【開催中】  
内容：丹波漆・丹後和紙・由良川藍を紹介しています。  
※展示会終了後、館内に丹波漆・丹後和紙・由良川藍の常設コーナーを設置します。

### 5 丹波漆×ドッコイセ大使・杉本敬三シェフ

杉本敬三シェフのプロデュースにより、「京都 白木屋」×「やくの木と漆の館」のコラボレーション「漆プレート」試作品を制作しました。  
上天津にある、高級まな板の製造で知られる「白木屋」が、10年以上手塩にかけて造りあげたケヤキの木のプレートにカッティングを施し、「木と漆の館」が丹波漆を塗って、木目の美しさが映える「漆プレート」に仕上げました。  
今後、ふるさと納税の限定御礼品などとしての活用ができないか、検討中です。  
(これとは別に、木と漆の館が杉本敬三シェフから依頼を受け、杉本シェフのレストラン「ラ・フィネス」の特製デザート用二段重を制作中です)